
サイレントストライカー®取扱説明

1. サイレントストライカー®各部名称

2. 施工方法・作業手順

- a) 操作概略
- b) 丸柱立設手順
 - ・防護柵支柱設置時
 - ・防護柵支柱引抜き時
- c) 角柱立設手順
 - ・防護柵支柱設置時
 - ・防護柵支柱引抜き時

3. 安全な作業について

- a) 誤操作警報装置について

4. 保守点検

- a) 注意事項
- b) グリース給油箇所

5. その他

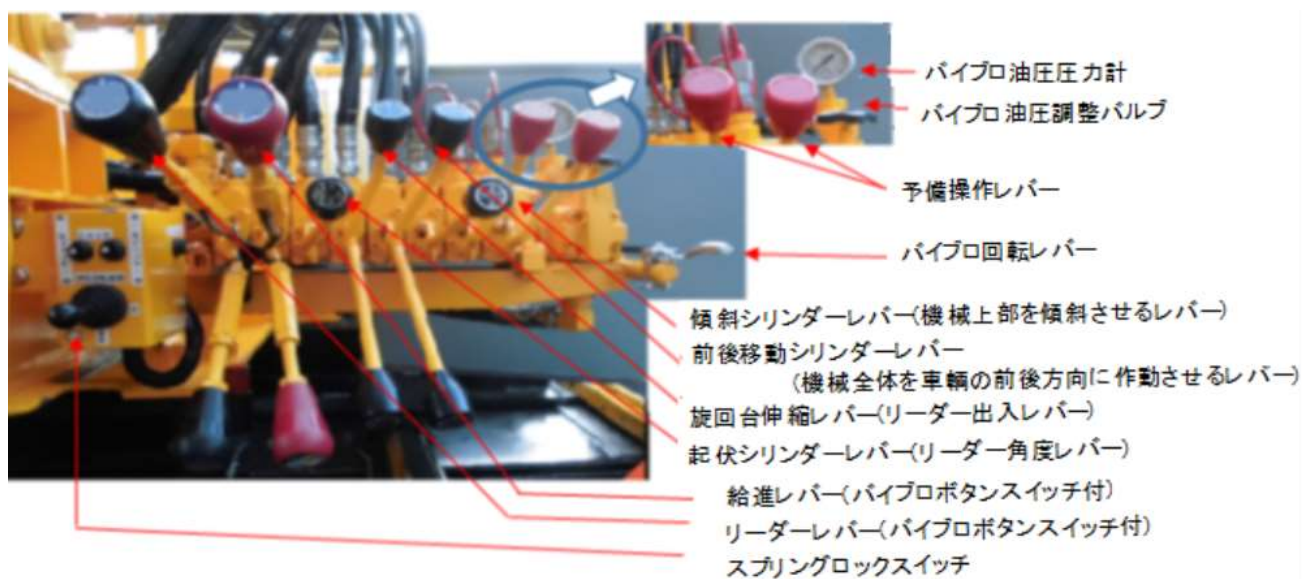
- a) 作業用ブレーキロックの操作方法
- b) アワーメーターの取扱

1 サイレントストライカー®各部名称



指示番号	部品名称	指示番号	部品名称	指示番号	部品名称	指示番号	部品名称
1	作動油タンク	8	リーダー	15	給圧用チェーン	22	角度傾斜装置
2	プロテクトキャブ	9	ローラーパイプレーション	16	4速リフトバルブ	23	旋回台本体
3	動力取出セカンドミッション	10	リーダー作動シリンダー	17	1速リフトバルブ		
4	油圧ポンプ1,2,3	11	支柱保持装置	18	オイルクーラー		
5	ダイヤロックシリンダー	12	圧入用モーター	19	ジャッキシリンダー		
6	前後移動シリンダー	13	起伏シリンダー	20	油圧操作レバー		
7	バランスウエイト	14	圧入用モーター減速機	21	旋回台伸縮シリンダー		

・手動式レバーと電動式操作スイッチ



サイレントストライカー®の取扱説明



①	アタッチメント A.B.C 打撃キャップ	⑩	バイプロ回転方向切換スイッチ
②	バイプロ本体	⑪	バイプロ作動圧力計
③	リーダー	⑫	油圧操作レバー
④	起伏シリンダー	⑬	ジャッキシリンダー
⑤	リーダー作動シリンダー	⑭	オイルクーラー
⑥	バイプロ回転・速度切換レバー(高速,低速)	⑮	バイプロ油圧調整バルブ
⑦	スプリングロックシリンダー作動スイッチ	⑯	ダウン給進圧力調整バルブ
⑧	バイプロスイッチ	⑰	非常用スイッチ
⑨	ジャッキシリンダー作動スイッチ		

2 施工方法・作業手順

a) 操作概略

- ・ガードパイプ、ガードレール等施工の支柱立設方法は、どのメーカーの支柱でも共通であり、作業手順も同じである。
- ・支柱の種類により拡張式支柱保持装置は異なるが、作業手順は同じである。爪装置は丸柱A種用、丸柱B・C種用、角柱用の3種類を用意している。
- ・車輛の右、左どちら側でも施工できるので、前進、後進どちらでも作業現場に入ることができる。

- ・支柱保持装置の爪部の差込後における、丸柱と角柱の施工方法・手順の相違点

	丸 柱	角 柱
支柱方向の位置決め	支柱立設後に回転させて位置を決める	支柱立設前に回転させて位置を決める。
パイプ油圧調節バルブ	地盤の固さで調節	最高圧力に調整して使用
立設方法	回転、微振動と圧入	微振動と圧入
引抜方法	回転と同時に、油圧シリンダーを利用して、支柱を引抜く	圧入してから、微振動と油圧シリンダーを利用して、支柱を引抜く

b) 丸柱立設手順

<<防護柵支柱設置時>>

- 1) 運転席のモニターを見ながら車輛を道路の中央分離帯、路側帯の作業現場で停止させ、上部旋回台を手動で90°回転させる。
- 2) 前後移動シリンダーレバーと旋回台伸縮シリンダーレバーとで、道路防護柵支柱の設置位置まで支柱保持装置を移動させ、傾斜シリンダーレバーと起伏シリンダーレバーとで支柱保持装置の垂直性を確認する。
- 3) 道路防護柵支柱を設置位置に直立させて、給進レバーで支柱の内側に拡張式支柱爪部をさし込み、支柱を内部から保持する。



- 4) ローターハブレクションの主軸で道路防護柵支柱を保持させ、ハブ回転バー操作で支柱を回転させながら、同時に給進バーで圧入用モータを作動させて減速機、給圧用チェーンを介して支柱を圧入する。

支柱が一定の深さになると、給圧力のより強いリーダー作動シリンダの利用に切り替える。



- 5) 地盤の状況により、給進バーとリーダーバーに設けたハブボタンスイッチを押し、ローターハブレクションの主軸に保持された支柱を給圧させながら、上下振動を与えて規定の深さに圧入する。



- 6) ハブ回転バーを操作して支柱の方向を決める

- 7) 給進バー、リーダーバーを上方向に操作しながらハブボタンスイッチを押し、支柱保持装置を外す



<<防護柵支柱引抜き時>>

- 1) 防護柵支柱頭部に支柱保持装置の爪部を差込む。
- 2) 支柱を保持しながら振動、回転させ昇降駆動装置を引き上げる。
- 3) 支柱保持装置と支柱とが離脱すると、支柱頭部にワイヤーロープを取り付けて昇降駆動装置を引き上げる。



c) 角柱立設手順

<<防護柵支柱設置時>>

- 1) 運転席のモニターを見ながら車輻を道路の中央分離帯、路側帯の作業現場で停止させ上部旋回台を手動で 90° 回転させる。
- 2) 前後移動シリンダーレバーと旋回台伸縮シリンダーレバーで、道路護柵支柱の設置位置まで支柱保持装置を移動させ、傾斜シリンダーレバーと起伏シリンダーレバーとで支柱保持装置の垂直性を確認する。
- 3) 道路防護柵支柱を設置位置に直立させて、給進レバーで支柱の内側に拡張式支柱爪部を差込み、支柱を内部から保持する。



- 4) ハイブロー回転レバーを使い 支柱を回転させ、支柱の角を 道路の向きに合わせる

サイレントストライカー®の取扱説明

- 5) 道路防護柵支柱をロータリーハイブレーション主軸に保持させ、微振動を加えながら、給進バーで圧入用モータを作動させて、減速機、給圧用チェーンを介して支柱を圧入する。
支柱が一定の深さになると給圧力のより強いリーダールーパースタックに切り替える。
同時にハイドロ油圧調節バルブを最高油圧に設定する。



- 6) 地盤の状況により、ロータリーハイブレーションの主軸に給進バーとリーダールーパースタックに設けたハイドロスイッチボタンを押して支柱に給圧させながら、支柱に上下振動を与えて規定の深さに圧入する。



- 7) 給進バー、リーダールーパースタックを上方向に操作しながらハイドロボタンスイッチを押して、支柱保持装置を外す。



<<防護柵支柱引抜き時>>

- 1) 防護柵支柱頭部に支柱保持装置の爪部を差込み、圧入する。
- 2) 支柱を保持しながら振動させ、昇降駆動装置を引き上げる。



- 3) 支柱保持装置と支柱とが離脱すると、支柱頭部にワイヤーロープを取り付けて昇降駆動装置を引き上げる。

3. 安全な作業について

a) 誤操作警報装置について

- 機械前方格納状態で、傾斜シリンダーの作動操作した時に機械を破損させるので、警報フォーンで知らせる。



傾斜シリンダー操作レバー（黒）



誤操作検出スイッチ

警報フォーンが鳴り止まない時は、運転席の誤操作警報切替スイッチをOFFにする

4. 保守点検

a) 注意事項

- ・ 作動油タンクの作動油は、毎年1回全量交換する。
- ・ 作動油エレメントは6ヶ月ごとに交換する。
- ・ バイブレーション本体取付ボルトのゆるみが発生する事があるので、定期的にゆるみの点検を行う
- ・ 各支点ピン及旋回軸受け部にはグリースを注油する。
- ・ 圧入機使用前には、弊社点検表にもとづき点検チェックを行なう。

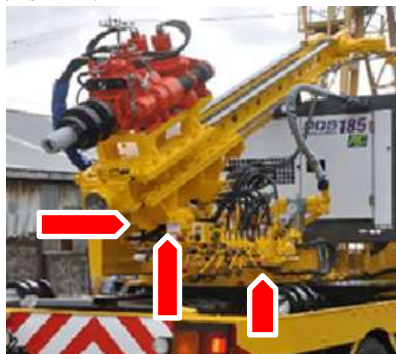
< コンプレッサー付き(オプション)の場合 >

- ・ 必ず製造元の取扱説明書を読み、その注意事項を遵守すること。
- ・ コンプレッサーのラジエーター水及びエンジンオイルは、コンプレッサー使用前に確認する。
- ・ コンプレッサーのエアータンクの水抜きは、コンプレッサー使用前後に必ずドレーンコックから抜く。
- ・ コンプレッサーエアーオイラーのオイルを、使用前に必ず確認する。
オイルは指定のロックドリルオイルを使用し、油量を確認する。

b) グリース給油箇所 基礎機械部分はエアーストライカーと共通

下記を参考に、強い荷重のかかる場所や摩擦の置きやすい部分に給油する

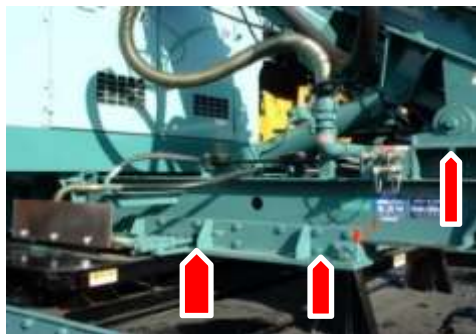
車両右後方部



架台側面部



車両左側



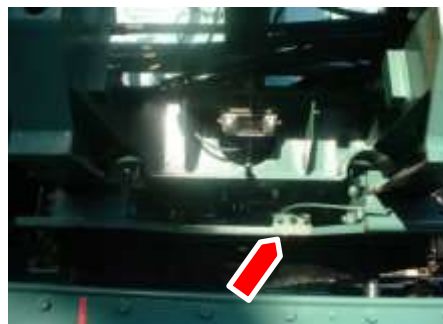
車両左側後方部



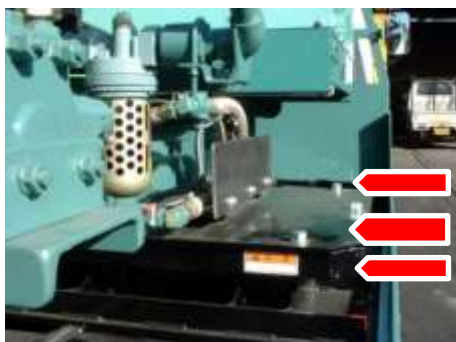
車両右側



旋回台及びベアリング部



車両中央右側



車両中央 (コンプレッサー下)



5. その他

a) 作業用ブレーキロック

操作方法は下記資料の通り

作業用ブレーキロックの操作方法

注意

- ・パーキングブレーキで駐車できる場所で使用してください。
- ・作業用ブレーキロック作動中は車のそばから離れないでください。
- ・下記の場合、作業用ブレーキロックは使用しないでください。
 - エンジン停止中
 - 通常の駐車をするための使用
 - 長時間の使用（1時間以上使用すると、警報ブザーが鳴ります）
- ・作業用ブレーキロック作動中にエンジンが停止した場合は、エンジンを再始動してから作業用ブレーキロックを再作動させてください。

操作パネル

作動方法

- ① エンジンをアイドリング状態にします。
- ② パーキングブレーキレバーを確実に引きます。
PARKING ランプ（赤）が点灯します。
- ③ POWER スイッチを押します。
POWER ランプ（黄）が点灯します。
- ④ LOCK ランプ（緑）が点灯するまで（同時にブザー「ピーピー」が鳴ります）、ブレーキペダルを踏みます。
注意：LOCK ランプ（緑）点灯中は、ブレーキペダルに足を乗せないでください。

解除方法

- ① POWER スイッチを押します。
LOCK ランプ（緑）と POWER ランプ（黄）が消灯します。
- ② パーキングブレーキを戻します。
PARKING ランプ（赤）が消灯します。

警報ブザー「ピーピー」が鳴ったときは

- ・ PARKING ランプ（赤）のみ消灯したときは、パーキングブレーキレバーを引き直します。
- ・ LOCK ランプ（緑）のみ消灯したときは、ブレーキペダルを踏み直します。
- ・ 操作パネルのランプがすべて点灯している場合は、ブレーキロックを解除し、再度ブレーキロックを作動させます。
- ・ 上記以外の状況が発生した場合、またはリセット（ブレーキロックを解除し、再度ブレーキロックを作動）してもブザーが鳴り続ける場合は、装置の異常が考えられます。装置の使用を中止し、ただちに《いすゞ販売会社》で点検・整備を受けてください。

8974908330

b) アワーメーターの取扱

アワーメーターは運転席室内に取り付けてある

車両エンジンを始動させて、PTOスイッチを「ON」にすると作動するので、PTOの作動時間を知ることができる。

PTOの作動時間と交換目安

オイルエレメント	500時間
作動油	1000時間

